
編集後記

- 本年も暖冬だったと云えそうです。雪が降りつもる冬と云うのは神戸あたりではもう望めないのでしょうか。
- お変わり御座いませんか。やっと本誌も発行することが出来ました。原稿難で四苦八苦です。自然破壊、環境破壊で近い所では刻々と様相が変わって来ております。ファウナの変化も大きいようです。記録は出来るだけしておくことが重要かと思えます。短報で結構です気軽に虫についての情報御投稿下さい。お願い致します。
- 本年はいよいよ兵庫県立 人と自然の博物館（正式名）が10月9日開館（予定）されるようです（1991年末収蔵庫棟が完成、昆虫関係は500㎡弱とのこと。事務所も4月から三田市に移転しオープン準備に入ると）。どのような博物館が出来るのか大いに期待しています。
- 兵庫県版レッドデータブック作製のため県保健環境部環境局環境管理課自然保護係の下で県の貴重な野生生物等選定委員会が設立されました。部門別に6つに分けられています。昆虫は委員長、神戸大学の桃井節也教授、副委員長、県立人と自然の博物館 中西明德主任指導主事で他に委員が6名から構成されています。第1回会合が平成3年12月24日、第2回が平成4年2月24日と共に“のじぎく会館”で開催されました。

(T)